

**商学部における特色ある学部教育の補助**  
**「学部授業への授業特別協力者(ゲストスピーカー)依頼」報告書**

テーマ：不正対応力の強化

科目名：課題演習Ⅰ

担当教員：辻野 幸子

実施日：2025年7月22日(火) 時限：5 時限目 実施教室：5506 教室

**実施趣旨（目的）**

不正対応力は、企業や監査法人で働く職業会計人にとって不可欠のスキルであるものの、テキストによる学習のみでは習得が難しく、また実務で経験を積む機会も極めて限定的である。

本講演は、不正対応力の強化に関して経験豊富なゲストスピーカーをお招きし、実際の事例を踏まえた臨場感あふれるご講義を実施いただくことで、不正とその対応について学生が深く考えるきっかけとすることを目的としている。

**実施結果**

本講演では、外部講演や社内研修、会計大学院でのご講義等、豊富な講演実績をお持ちの、みのり監査法人理事長の大森一幸様を講師としてお迎えし、「事例から学ぶ不正対応力強化研修」のテーマでご講演いただいた。

講演においては、実務経験のない学生にも理解できるよう、身近な不正事例13件を取り上げ、それらの概要や背景についてご説明いただいた後、以下のような点について意見交換を行った。

- ・ 発覚が遅れた要因
- ・ 組織や周りの関係者が不正を察知する兆候
- ・ 内部管理部門の機能の有効性
- ・ 不正防止に効果的な内部統制
- ・ 会計監査人の責任の有無

各事例の検討に際しては、一般論にとどまらず、事例を踏まえた具体的な異常点や合理性に着目した深い考察が行われた。また、不正があった場合に行われる内部調査や再発防止策、監査法人や内部監査の視点（検討ポイント）、不正によるリスク、各自の心構え等、通常の授業ではなかなか得ることのできない貴重な示唆に富む講義となった。

本講演は、学生だけでなく社会人の方々にも広く役立つような実践的で有益な内容であった。双方向を意識した対話型授業のお陰で、履修生一人ひとりが不正案件を疑似経験して当事者意識をもって考える大変貴重な機会となった。

